

目 標	国語を適切に表現し正確に理解する能力を育成し、伝え合う力を高めるとともに、思考力や想像力を養い言語感覚を豊かにし、国語に対する認識を深め国語を尊重する態度を育てる。
1. 指導の重点	<p>○話す能力、聞く能力、話し合う能力を身につけさせるとともに、考えを広げようとする態度を育てる。</p> <p>○構成を工夫して分かりやすく書く能力を身につけさせるとともに、文章を書いて考えを広げようとする態度を育てる。</p> <p>○表現の仕方に注意して読む能力、情報を集め効果的に活用する能力を身に付けさせるとともに、読書を生活に役立てようとする態度を育てる。</p>

学期	月	時数	単 元 (題 材)	学 習 内 容
一 学 期	4	1	1年の復習	漢字、文法、表現技法の復習 学習に向けての課題 言葉の用い方や表現の特徴に注意し、感じたことを意識して声に出して読む。 登場人物の言動や心情を表す表現などに注意して、作品を読み取る。
		1	2年生の学習に当たって	
		2	見えないだけ	
		7	アイスプラネット	
一 学 期	5	3	文法	1年生の復習 描写の巧みさを読み取り、作者の四季の捉え方や感じ方について考えをもつ。 自分の季節感が効果的に伝わるように、描写や構成を工夫して書く。 義語と対義語、多義的な意味を表す語句の意味や用法に注意する。 硬筆練習、字形を整える
		6	枕草子	
		1	自分流「枕草子」を書こう	
		1	漢字1 熟語の構成	
1	書写 学習のはじめに			
一 学 期	6	4	生物が記録する科学	文章の構成や、事実と考えの示し方に注意して読み、内容を理解する。 情報を多様な方法で集め、わかりやすくプレゼンテーションをする。 メディアについて知識や体験と関連づけて自分の考えをもつ。 語感を磨き、語彙を豊かにする。 語句の効果的な使い方や文章の描写の効果を理解し、情景を想像しながら読む。 情景や思いを想像しながら読み、内容や表現の仕方を感じたことを話し合う。 似た気持ちを表す言葉を比べ、言葉のもつ意味について考え、語感を磨く。 行書の特徴に気をつけ、字形を整えて書く。
		5	魅力的な提案をしよう	
		3	メディアと上手に付き合うために	
		2	言葉1 類義語・対義語・多義語	
1	新しい短歌のために			
2	短歌を味わおう			
1	言葉を比べよう			
1	書写 行書を書こう			
一 学 期	7	4	文法への扉1 単語をどう分ける？	単語の分類方法について理解する。 作品を読み味わい、読書生活を豊かにする。 行書と仮名の調和に気をつけて書く。
		4	世界で一番の贈り物	
		2	季節のしおり 夏	
		2	書写 行書と仮名を書こう	
二 学 期	9	5	盆王産	描写の効果、登場人物の言動の意味などに注意し、人柄や心情を読み取る。 父親の家族への愛情を読み取り、家族のきずなや人間関係について考えをもつ。 文章を読み、推敲し合いより適切な文章について考える。 配列・配置に気をつけ、字形を整えて書く。手紙の書き方を知る。 各段落の役割や叙述の順序に注意して読み、内容を理解する。 敬語表現の特徴を理解し、相手や目的に応じて言葉を工夫する大切さに気づく。 同音異義語の使い分けについて考える。
		3	字のない葉書	
		1	推敲して適切な文章に直す	
		4	書写 気持ちを込めて書こう	
5	モアイは語るー地球の未来			
1	言葉2 敬語			
1	漢字2 同じ訓、音を持つ漢字			
二 学 期	10	1	季節のしおり 秋	冒頭部分を音読することで古文の表現に慣れ、古典の世界を楽しむ。 人物の心情を想像し、古人のものの見方や考え方について自分の考えをもつ。 描写や人物の言動から作者のものの見方や考え方をとらえ、自分の考えをもつ。 漢詩とその解説文を読み、詩の情景や人物の心情を想像し、自分の考えをもつ。 言葉や表現の工夫などに注意しながら、筆者のものの見方や考え方を読み取る。
		1	音読を楽しもう 平家物語	
		3	扇の的ー「平家物語」から	
		3	仁和寺にある法師ー「徒然草」から	
3	漢詩の風景			
4	君は「最後の晩餐」を知っているか			
二 学 期	11	5	話し合って考えを広げよう	異なる立場や考えを想定して考えをまとめ、説得力のある意見を述べる。 用言の活用について理解する。 自分の意見とその根拠を明確にして、文章構成を工夫して書く。 文字の大きさや配列に気をつけて書く。 表現の仕方に着目しながら朗読し、感じたことを話し合う。 筆者の声に対する考え方について考えたことを話し合う。
		2	文法への扉2	
		2	根拠を明確にして意見を書こう。	
		2	書写 楷書と行書を書こう	
2	落葉松			
1	小さな町のラジオ発			
二 学 期	12	2	本の世界を広げよう。	案内を読み、興味や読書の幅を広げる。 表現の巧みさを味わい、描写の効果、人物の言動などから内容を理解する。 自学習の成果を生かし、書き初めの練習をする。
		1	季節のしおり 冬	
		6	走れメロス	
		3	書写 書き初めをしよう	
三 学 期	1	3	文法への扉3 一字違いで大違い	付属語について理解する。 ある視点を定め、表現のしかたを工夫して文章を書く。 方言と共通語の果たす役割について理解する。 書き初めを鑑賞し合い、よい点を学び合う。
		5	表現のしかたを工夫して書く	
		2	言葉3 方言と共通語	
2	書写書き初めの鑑賞			
三 学 期	2	3	科学はあなたの中にある	事例と主張との関係を考えて内容を読み取る。
		2	漢字3 送り仮名	
		6	一年間の学びを振り返ろう	
三 学 期	3	1	鍵	言葉の意味を考え、詩に込められた思いを捉える。 目的や用途によって用具や用材を選び、丁寧に書く。
		3	書写 生活に広げよう	

評価の観点の趣旨	【主な学習目標】	主な評価資料
○知識・技能：具体と抽象など情報と情報との関係について理解を深めることができる。		定期テスト、書写、小テスト等
○思考力・判断力・表現力：目的や意図に応じた表現になっているかなどを確かめて、文章全体を整えることができる。		作文、定期テスト、小テスト等
○主体的に学習に取り組む態度：言葉がもつ価値を認識するとともに、読書を通して自己を向上させ、我が国の言語文化に関わり、思いや考えを伝え合おうとする。		発言、態度、ノート、ワーク、プリント等

令和5年度 年間指導計画 社会科（地理的分野） 2学年

目標	「世界と日本の地域構成」及び「世界の様々な地域」の学習成果を踏まえ、日本及び日本の諸地域の地域的特色を捉える学習を通して、日本の国土に関する地理的認識を深めさせる。
指導の重点	日本の地域的特色及び日本の諸地域に関する諸資料の読み取りを通して、その特色を多角的・多面的に捉える力を育む。また、自然環境、人口、資源・エネルギーと産業、交通・通信を関連づけて理解する力を育む。

学期	月	時数	単元（題材）	学 習 内 容
1 学 期	4	5	日本の姿	日本の位置、時差、領土・領域、都道府県庁所在地、地域区分
	5	6	日本の地域的特色	日本の地形、気候 日本の人口、資源・エネルギー 日本の農林水産業、工業 商業・サービス業、交通網・通信網 自然環境、人々の生活、農業、産業
	6	8		
2 学 期	8	3	九州地方	自然環境、人々の生活、農業、工業、観光産業。環境問題
	9	2	中国・四国地方	自然環境、交通網、人々の生活、工業、農業、観光産業
	9	5		
	10	5	近畿地方	自然環境、京阪神大都市圏、阪神工業地帯 古都京都・奈良と歴史的景観の保全、林業・漁業と環境保全
	11	5	中部地方	自然環境、中京工業地帯、東海の産業 中央高地の産業、北陸の産業
12	6	関東地方	自然環境、首都・東京、東京大都市圏 第三次産業の発達、工業の変化、農業と過疎問題	
3 学 期	1	5	東北地方	自然環境、寒い地域での稲作と畑作、果樹栽培と漁業 伝統文化と観光産業、工業と生活の変化
	2	5	北海道地方	自然環境、稲作の歴史、大規模化した農業、漁業 北国の自然を生かした観光産業
	3	5	身近な地域の調査	まとめ学習

評価の観点の趣旨【主な学習目標】	主な評価資料
<p>①【知識・技能】 日本の地域的特色や日本の諸地域の資料をもとに、その特色を理解している。</p> <p>②【思考・判断・表現】 日本の地域的特色や日本の諸地域の特色を、自然環境、人口、資源・エネルギー、交通・通信の項目について関連づけて、地域の共通点や差異、分布などに着目して、多面的・多角的に考察し表現している。</p> <p>③【主体的に学習に取り組む態度】 日本の地域的特色と日本の諸地域について、よりよい社会の実現を視野に、そこで見られる課題を主体的に追究しようとしている。</p>	<p>定期考査 ー①②</p> <p>ノート } ①②③ ワーク } レポート }</p>

目標	12～19世紀までの日本の歴史の流れを、世界の歴史を背景に、各時代の特色を踏まえて理解させる。また、歴史に関わる事象の意味や意義、伝統や文化の特色などを、時期や年代、推移、比較、相互の関連や現在とのつながりなどに着目して多面的・多角的に考察したり、思考・判断したことを説明したりする力を養う。
指導の重点	日本の歴史と関連する世界の歴史を背景に、政治の展開、産業の発達、社会の様子や文化の特色など、ほかの時代との共通点や相違点に着目して各時代の特色を理解し表現する力を育む。

学期	月	時数	単元（題材）	学 習 内 容
1 学 期	4	3	武家政権の内と外	元寇、南北朝の内乱 勘合貿易、琉球とアイヌの人々との交易
	5	2		
	6	3	人々の結びつきが強まる社会	技術の発達、自立する民衆 下剋上、室町時代の文化
	7	2		
7	3	大航海によって結び付く世界	イスラーム世界の拡大、大航海時代、東アジアの貿易	
	7	4	戦乱から全国統一へ	信長・秀吉による全国統一、秀吉の政策、桃山文化
2 学 期	9	2	武士による支配の完成	幕藩体制の始まり 朱印船貿易から貿易統制へ、貿易の四つの窓口 琉球王国とアイヌの人々への支配
	10	3		
	10	2	天下泰平の世の中	江戸時代の身分制度、諸産業の発達、交通網の発達 元禄文化
11	3			
	12	2	社会の変化と幕府の対策	享保の改革、田沼の政治、寛政の改革
3 学 期	1	3		化政文化
	1	2	欧米諸国における近代化	市民革命、フランス革命、産業革命、欧米諸国の世界進出
	2	3		
	2	2	開国と幕府の終わり	アヘン戦争、天保の改革、ペリー来航と開国 江戸幕府の滅亡
3	2			
	3	4	新しい価値観の下で	明治維新、富国強兵政策、文明開化

評価の観点の趣旨【主な学習目標】	主な評価資料
① 【知識・技能】 各時代の特色を表す資料から歴史に関する様々な情報を効果的に読み取り、その時代の特色と歴史的事象に関する基礎・基本的事柄を理解している。	定期考査 } ②③④ 小テスト } ノート提出 } ワーク提出 } ①②③ レポート } 提出物 }
② 【思考・判断・表現】 各時代の共通点や相違点について多角的・多面的に考察し表現している。	
③ 【主体的に学習に取り組む態度】 各時代の特色と歴史的事象について、よりよい社会の実現を視野に、そこで見られる課題を主体的に追究しようとしている。	

目標	<p>数学的活動を通して、数量や図形などに関する基礎的な概念や原理・法則についての理解を深め、数学的な表現や処理の仕方を知り、事象を数理的に考察し表現する能力を高めるとともに、数学的活動の楽しさや数学のよさを実感し、それらを活用して考えたり判断したりしようとする態度を育てる。</p>
指導の重点	<p>(1) 文字を用いた式について、目的に応じて計算したり変形したりする能力を養うとともに、連立二元一次方程式について理解し用いる能力を培う。 (2) 基本的な平面図形の性質について、観察、操作や実験などの活動を通して理解を深めるとともに、図形の性質の考察における数学的な推論の必要性と意味及びその方法を理解し、論理的に考察し表現する能力を養う。 (3) 具体的な事象を調べることを通して、一次関数について理解するとともに、関数関係を見だし表現し考察する能力を養う。 (4) 不確定な事象を調べることを通して、確率について理解し用いる能力を培う。</p>

月	学期	章	時数	節	
4	1 学期 (3 6 時間)	1章 文字式を使って説明しよう [式の計算]	8	<とびら> スタート地点の差は何m? 1節 式の計算	
5			6	2節 文字式の利用	
			1	章の問題A	
6		2章 方程式を利用して問題を解決しよう [連立方程式]	—	章の問題B p. 566 ★他教科関連(技術・家庭) p. 567 ★他教科関連(技術・家庭)	
			7	<とびら> 決めたシュートの本数は? 1節 連立方程式とその解き方	
			4	2節 連立方程式の利用	
7		3章 関数を利用して問題を解決しよう [1次関数]	1	章の問題A	
			—	章の問題B	
9		2 学期 (4 2 時間)	4章 図形の性質の調べ方を考えよう [平行と合同]	2	<とびら> 中火と強火、どちらで沸かす? 1節 1次関数
				8	2節 1次関数の性質と調べ方
				4	3節 2元1次方程式と1次関数
				4	4節 1次関数の利用
10	4章 図形の性質の調べ方を考えよう [平行と合同]	—	<学びをひろげよう> 桜の開花日を予想しよう		
		1	章の問題A		
		—	章の問題B		
11	5章 図形の性質を見つけて証明しよう [三角形と四角形]	3	<とびら> どんないろが書かれているのかな? 1節 説明のしくみ		
		5	2節 平行線と角		
12	5章 図形の性質を見つけて証明しよう [三角形と四角形]	6	3節 合同な図形		
		1	章の問題A		
1	6章 起こりやすさをとらえて説明しよう [確率]	—	章の問題B		
		8	<とびら> 直角にラインをひくには? 1節 三角形		
2	7章 データを比較して判断しよう [データの比較]	12	2節 平行四辺形 p. 150 ★他教科関連(技術・家庭)		
		1	章の問題A		
		—	章の問題B		
3	予備時間	6	<とびら> くじをひく順番は? 1節 確率		
		2	2節 確率による説明		
		1	章の問題A		
		—	章の問題B		
3	数学の自由研究	4	<とびら> どんな商品がよく売れるのかな? 1節 四分位範囲と箱ひげ図		
		—	<学びをひろげよう> コンビニのデータ活用		
		1	章の問題A		
		—	章の問題B	<ul style="list-style-type: none"> ・17段目のふしぎ ・テーブルマジック ・アメリカ ホームステイ p. 204 ★他教科関連(英語) ・四角形の変身 ・図形の性質を見つけよう ・パスカルとフェルマーの手紙【発展】 ・点字を読んでみよう 	
合計				105	

評価の観点及びその趣旨	主な評価材料
<p>【知識・技能】 数量や図形などについての基礎的な概念や原理・法則などを理解している。 ・事象を数式化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けている。</p>	定期考査、小テスト
<p>【思考・判断・表現】 数学を活用して事象を論理的に考察する力、数量や図形などの性質を見だし統合的・発展的に考察する力、数学的な表現を用いて事象を簡潔・明瞭・的確に表現する力を身に付けている。</p>	定期考査、小テスト
<p>【主体的に学習に取り組む態度】 数学的活動の楽しさや数学のよさを実感して粘り強く考え、数学を生活や学習に生かそうとしたり、問題解決の過程を振り返って評価・改善しようとしていたりしている。</p>	問題集、ノートやプリント、宿題、授業観察

令和5年度 年間指導計画 2年 理科

目 標	自然の事物・現象に進んでかかわり、目的意識をもって観察、実験などを行い、科学的に探究する能力の基礎と態度を育てるとともに自然の事物・現象についての理解を深め、科学的な見方や考え方を養う。
指導の重点	<ul style="list-style-type: none"> ・実験結果に基づき表やグラフを作成し、レポートを作成発表する。またモデルなどの活用により思考力や表現力を養う。 ・科学技術が身近な生活に活かされていることと結びつけ、より理解を深めるとともに科学的な考え方を生活に活かせるように指導する。このため、ものづくりや生活に基づいた課題提示を行う。 ・生命を尊重し、自然環境の保全に寄与する態度を育成する。 ・観測しにくい現象などをコンピュータやプロジェクタなどを用いてシミュレーションやイメージ画像として提示するなど、ICT機器を活用して生徒の思考と理解を支援する。 ・計算や化学反応式などつまづきやすい課題を、家庭で反復練習させるように支援し、小テストなどによって定着を図る。

学期	月	時数	単 元 (題 材)	学 習 内 容 数字は予定時数
一 学 期	4	8	生物の体のつくりとはたらき 1章 生物の体をつくるもの	<ul style="list-style-type: none"> ・生物の体のつくりとはたらき(1) ・生物の体の成り立ち(3) ・細胞のつくり(3) ・細胞のはたらき(1)
	5	14	2章 植物の体のつくりとはたらき 3章 動物のからだのつくりとはたらき	<ul style="list-style-type: none"> ・栄養分をつくる(5) ・植物の呼吸(2) ・水や栄養分を運ぶ(4) ・栄養分を取り入れる(6)
	6	18	4章 動物の行動のしくみ	<ul style="list-style-type: none"> ・動物の呼吸(1) ・不要な物質のゆくえ(1) ・物質を運ぶ(4) ・感じ取るしくみ(3) ・刺激を伝えたり反応したりするしくみ(4) ・運動のしくみ(1) ・力だめし(1)
	7	6	化学変化と原子分子 1章 物質の成り立ち	<ul style="list-style-type: none"> ・ダイヤモンドをつくる粒子(1) ・物質を加熱したときの変化(3) ・水溶液に電流を流したときの変化(3)
二 学 期	9	14	2章 物質の表し方 3章 ささまざまな化学変化	<ul style="list-style-type: none"> ・物質のもとになる粒子(1) ・原子が結びついてできる粒子(2) ・物質を表す記号(1) ・物質を表す式(2) ・化学変化を表す式(3) ・物質どうしが結びつく変化(3) ・物質が酸素と結びつく変化(3)
	10	16	4章 化学変化と物質の質量 地球の大気と天気の変化 1章 地球を取り巻く大気の様子	<ul style="list-style-type: none"> ・物質から酸素をとり除く変化(2) ・化学変化と熱の出入り(2) ・化学変化の前後での物質の質量(2) ・反応する物質どうしの質量の割合(4) ・力だめし(1) ・地球の大気と天気の変化(1) ・大気の中ではたらく力(3)
	11	16	2章 大気中の水の変化 3章 天気の変化と大気の動き	<ul style="list-style-type: none"> ・大気の様子を観測する(3) ・霧のでき方(1) ・雲のでき方(3) ・空気にふくまれる水蒸気の量(4) ・風が吹くしくみ(1) ・大気の動きによる天気の変化(3)
	12	14	4章 大気の動きと日本の四季 電流とその利用 1章 電流の性質	<ul style="list-style-type: none"> ・地球規模での大気の動き(1) ・陸と海の間の大気の動き(1) ・日本の四季の天気(6) ・天気の変化がもたらす恵みと災害(1) ・力だめし(1) ・電流とその利用(1) ・電流が流れる道すじ(3)
三	1	9		<ul style="list-style-type: none"> ・回路に流れる電流(3) ・回路に加わる電圧(3) ・電圧と電流の関係(3)

学 期	2	15	2章 電流の正体	<ul style="list-style-type: none"> ・電流、電圧、電気抵抗の求め方(3) ・電流のはたらきを表す量(3) ・静電気(3) ・静電気と電流の関係(2) ・電流の正体(3) ・放射線の発見とその利用(1)
	3	10	3章 電流と磁界	<ul style="list-style-type: none"> ・磁界(3) ・モーターのしくみ(3) ・発電機のしくみ(3) ・力だめし(1)

評価の観点の趣旨	【主な学習目標】	主な評価資料
<p>【知識・技能】 自然事象の基本的な概念や原理・法則などを理解しているとともに、科学的に探究するために必要な観察・実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身に着けている。</p> <p>【思考・判断・表現】 自然事象の規則性などを見出し表現しているなど、科的に探究している。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 自然事物現象に進んで関わり、見通しを持ったり、振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。</p>		<ul style="list-style-type: none"> ○知識・技能 授業態度、レポート・ワークシート・小テスト・定期テストなどで評価する。 ○思考・判断・表現 レポート・ワークシート・小テスト・定期テストなどで判断する。 ○主体的に取り組む学習他愛度 授業態度・自己評価・レポート・ワークシートなどで判断する。

目 標	外国語による聞くこと、読むこと、話すこと、書くことの言語活動を通して、簡単な情報や考えなどを理解したり、表現したり伝えあったりする資質・能力の育成を目指す。
指導の重点	第1学年の学習を基礎として、言語の使用場面や言語の働きをさらに広げた言語活動を行い、事実関係を伝えたり、物事について判断したりする中でコミュニケーション能力の育成を図る。

学期	月	時数	単 元 (題 材)	学 習 内 容
一 学 期	4	10	LESSON 1 Peter Rabbit Take Action! Listen1 Take Action! Talk1 GET Plus1	○話の全体的な概要を把握する。 ○未来を表す表現や接続詞that、May I?の用法を理解し使う。 ○週末の予定について対話する。
	5	15	LESSON 2 My Dream	○不定詞の用法やIt is ~for...の用法を理解し使う。 将来の夢などについて原稿を書きスピーチをする。
	6	15	Project1 Take Action! Listen2 Take Action! Talk2 GET Plus2 Reading for Information1	○チャリティーについての説明を聞いて、話し手が伝えたいことを聞き取る。 ○ボランティア活動や遠足の行き先について話し合う。 ○利用案内を読んで、自分が必要とする情報を読み取る。
二 学 期	7	12	LESSON 3 Every Drop Counts GET Plus 3	○There is[are]やmust、動名詞の用法を理解し使う。 ○即興で町紹介のスピーチをする。
	8	12	LESSON 4 Uluru Take Action! Listen3 Take Action! Talk3	○willの用法や動詞(give callなど)+A+Bの用法を理解し使う。 ○夏休みのできごとについて対話する。
	10	16	GET Plus4 Reading for Information2 Reading for Fun LESSON 5 Things to Do in Japan	○have to ,don't have toの用法を理解し使う。 ○レストランのメニューを読んで自分が必要とする情報を読み取る。 ○物語を抑揚をつけて音読する。 ○比較級、最上級の用法を理解し使う。
	11	16	Take Action! Listen4 Take Action! Talk4 GET Plus5 Reading for Information3 Project2	○イベント情報を聞いて、話し手が伝えたいことを聞き取る。 ○howなど+toの用法を理解し使う。 ○公園の看板を読んで、自分が必要とする情報を読み取る ○修学旅行のプランを提案する。
12	11	LESSON 6 Tea from China	○現在完了形（継続）の用法を理解し使う。	
三 学 期	1	10	Take Action! Listen5 Take Action! Talk5 GET Plus6 Reading for Information4 LESSON 7 Rakugo Goes Overseas	○ラジオから話の全体的な内容を聞き取る。 ○困っていることを伝え、解決策について対話する。 ○Could you~?と依頼の時の表現を理解し使う。 ○現在完了形（完了・経験）の用法を理解し使う。
	2	13	Take Action Listen6 Take Action Talk6	○ホストファミリーの話し合いを聞いて、話し手が伝えたいことを聞き取る。
	3	10	Project3 Reading for Fun2	○テーマについて意見を述べ合う。 ○「星の王子さま」の物語を楽しみながら読む。

評価の観点の趣旨 【主な学習目標】	主な評価資料
① 【知識・技能】 外国語の音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどを理解するとともに、これらの知識を、聞くこと、読むこと、話すこと、書くことによる実際のコミュニケーションにおいて活用できる技能を身に付けるようにする。	① 定期考査、単元テスト、インタビューテスト、発表、会話、英作文など
② 【思考力・判断力・表現力等】 コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、日常的な話題や社会的な話題について、外国語で簡単な情報や考えなどを理解したり、これらを活用して表現したり伝え合ったりすることができる力を養う。	② 定期考査、発表、会話、英作文など
③ 【主体的に学習に取り組む態度】 外国語の背景にある文化に対する理解を深め、聞き手、読み手、話し手、書き手に配慮しながら、主体的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとする態度を養う。	③ 言語活動への取り組み、宿題や提出物への取り組み

目 標	<ul style="list-style-type: none"> ・ 曲想と音楽の構造などとの関わり及び音楽の多様性について理解するとともに、創意工夫を生かした曲にふさわしい音楽表現をするために必要な歌唱、器楽、創作の技能を身に付ける。 ・ 音楽を評価しながらよさや美しさを味わって聴くことができるようにする。 ・ 主体的・協働的に表現及び鑑賞の学習に取り組み、音楽活動の楽しさを体験することを通して、音楽によって生活を明るく豊かなものにし、音楽に親しんでいく態度を養う。
指導の重点	<ul style="list-style-type: none"> ・ 歌唱では、全体の響きや各声部の声などを聴きながら他者と合わせて歌う活動を重視する。歌詞の内容や作詞者作曲者、使われている楽語や記号、曲想と音楽の構造や歌詞の内容との関わりなどを理解し、曲にふさわしい音楽表現を創意工夫することを目指す。 ・ 器楽、創作では、楽器の音色や響きと奏法との関わりや、音の重なり方、反復、変化、対照などの構造上の特徴を理解し、創意工夫した表現を目指す。 ・ 鑑賞では、音楽の特徴とその背景となる文化や歴史、他の芸術との関わりについて理解し、曲や演奏に対する評価とその根拠、生活や社会における音楽の意味や役割、音楽表現の共通性や固有性などについて考え、様々な視点で楽曲を捉えられることを目指す。

学期	月	時数	単 元 (題 材)	学 習 内 容
一 学 期	4	2	情景を思い浮かべながら、言葉 を大切に歌おう ・ 夏の思い出	<ul style="list-style-type: none"> ・ 曲の構成の変化により、曲想の変化が生まれることを感じ取った歌唱表現 ・ 歌詞と旋律との関わりを感じ取りながら、曲のもつ情緒を味わい表現を工夫する
		2	歌詞と旋律が生み出す雰囲気 を味わいながら歌おう ・ 荒城の月	
	5	3	オペラに親しみ、その音楽を 味わおう ・ 合唱鑑賞教室に向けて ・ オペラ「カルメン」	<ul style="list-style-type: none"> ・ 独唱と合唱の響きの違い ・ オペラ音楽の特徴や魅力について、他の芸術との関わりを理解しながらよさや美しさを味わう
		3	アルトリコーダーに親しもう ・ 聖者の行進 ・ オーラリー	
二 学 期	9	3	思いをこめて合唱しよう (合唱コンクールに向けて) ・ 学年課題曲 ・ 各クラス自由曲	<ul style="list-style-type: none"> ・ 作詞者や作曲者、楽語や記号、曲の構成の理解 ・ 歌詞の意味や曲の背景にある情景や作者の心情、自己のイメージや感情をふくらませた歌唱表現 ・ 指揮の基本的な表現方法
		3	指揮法	
	10	2	曲の構成に注目しながら、曲 想の変化を味わおう ・ 交響曲第5番ハ短調	<ul style="list-style-type: none"> ・ 「モチーフ（動機）」の使われ方や「ソナタ形式」の仕組みの理解 ・ オーケストラの豊かな響きの感受
		2	オペラに親しみ、その音楽を 味わおう ・ オペラ「アイーダ」	
	12	2	情景を思い浮かべながら、表 情豊かに歌おう ・ 早春賦	<ul style="list-style-type: none"> ・ 曲の形式や構成の理解 ・ 旋律全体のまとまりを意識した歌唱表現
三 学 期	1	2	歌舞伎に親しみ、その音楽を 味わおう ・ 歌舞伎「勸進帳」	<ul style="list-style-type: none"> ・ 歌舞伎の音楽の特徴や長唄などの役割の理解 ・ 音楽、舞踊、演技が一体となった歌舞伎のよさや美しさを味わう
		3	ギターの響き ・ カントリーロード	
	3	5	心通う合唱 (卒業式・入学式に向けて) ・ 在校生合唱	<ul style="list-style-type: none"> ・ 作詞者や作曲者、楽語や記号、曲の構成の理解 ・ 創意工夫を生かし、全体の響きや各声部の声などを聴きながら他者と合わせて歌う技能

評価の観点の趣旨 【主な学習目標】	主な評価資料
<p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 作詞者や作曲者、楽語や記号、曲想と音楽の構造や歌詞の内容との関わりを理解している。 ・ 創意工夫を生かした表現をするために必要な歌唱の技能や、楽器で表現したり曲を創作したりする基礎的な技能が身に付いている。 <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 音楽の特徴とその背景となる文化や歴史、他の芸術などと関わらせながら、どのように表現するか思いや意図をもったり、音楽のよさや美しさを味わって聴いたりしている。 <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 音楽活動の楽しさを体験することを通して、主体的・協働的に粘り強く学習活動に取り組もうとしている。 	<p>【知識・技能】</p> <p>実技試験、定期考査</p> <p>【思考・判断・表現】</p> <p>鑑賞文、定期考査、実技試験</p> <p>【主体的に取り組む態度】</p> <p>授業態度、各種提出物の内容、実技試験</p>

令和5年度 年間指導計画 美術科 2年生

目 標	<ul style="list-style-type: none"> 対象や事象を捉える造形的な視点について理解するとともに、意図に応じて自分の表現方法を追求し、創造的に表すことができるようにする。 自然の造形や美術作品などの造形的なよさや美しさ、表現の意図と創造的な工夫、機能性と洗練された美しさとの調和、美術の働きなどについて独創的、総合的に考え、主題を生み出し、豊かに発想し構想を練ったり、美術や美術文化に対する見方や感じ方を深めたりすることができるようにする。 主体的に美術の活動に取り組み創造活動の喜びを味わい、美術を愛好する心情を深め、心豊かな生活を創造していく態度を養う。
指導の重点	<ul style="list-style-type: none"> アイデアスケッチで構想を練ったり、言葉で考えを整理したりすることや、作品に対する自分の価値意識をもって批評し合うなどして対象の見方や感じ方を深めるなどの言語活動の充実を図る。 日本の美術の概括的な変遷などを捉えることを通して、各時代における作品の特質、人々の感じ方や考え方、願いなどを感じ取ることができるようにする。

学期	月	時数	単 元 (題 材)	学 習
一 学 期	4	1	オリエンテーション	・美術の授業内容・評価に関して。
	5	2	=デザイン= <アートグラス>	<ul style="list-style-type: none"> 主題を選択し、アイデアスケッチを行う。 主題が伝わるよう創意工夫し表現する。 構図や色の組み合わせを工夫して制作を行う。 ニードルの使い方、削り方、刀痕の効果的応用。 少しずつ絵の具で彩色
		5		
	6		=鑑賞= <日本美術史>	・社会の中の美術の役割について考える。
一 学 期	7	2	=デザイン・平面構成= <ポスター> (夏休みの課題)	<ul style="list-style-type: none"> 主題をもとにイメージを膨らませる。 レタリングの学習を活かし、創意工夫しながら描く。
二 学 期	9	8	=表現(半立体)= <半立体模写>	<ul style="list-style-type: none"> 主題を選択し、観察する。 粘土や樹脂を使って、成形を行う。 本物に近づけるよう観察しながら彩色を行う。 構図や色の組み合わせを工夫して制作を行う。
	10		=鑑賞= <日本美術史>	・社会の中の美術の役割について考える。
	11	6		
	12	9	=工芸= <水墨画>	<ul style="list-style-type: none"> 主題を選び、スケッチ、下描きをする。 墨や筆等の使い方、効果的応用。 構図や色の重なりを工夫して制作を行う。
三 学 期	1			
	2	2	=鑑賞= <日本美術史>	・社会の中の美術の役割について考える。
	3			

評価の観点の趣旨 【主な学習目標】	主な評価資料
【知識・技能】 ・対象や事象を捉える造形的な視点について理解している。 ・表現方法を工夫し、創造的に表している。 【思考・判断・表現】 ・造形的なよさや美しさ、表現の意図と工夫、美術の働きなどについて考えるとともに、主題を生み出し豊かに発想し構想を練ったり、美術や美術文化に対する見方や感じ方を深めたりしている。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・美術の創造活動の喜びを味わい主体的に表現及び鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。	【知識・技能】 提出物、作品、定期考査 【思考・判断・表現】 提出物、作品、定期考査 【主体的に取り組む態度】 授業への取り組み、提出物、作品

目標	体育や保健の見方・考え方を働かせ、課題を発見し、合理的な解決に向けた学習過程を通して、心と体を一体化として捉え、生涯にわたって心身の健康を保持増進し豊かなスポーツライフを実現するための資質・能力を育成することを目指す。
指導の重点	(1)各種の運動の特性に応じた技能等及び個人生活における健康・安全について理解するとともに、基本的な技能を身につけるようにする。 (2)運動や健康についての自他の課題を発見し、合理的な解決に向けて思考し判断するとともに、他者に伝える力を養う。 (3)生涯にわたって運動に親しむとともに、健康の保持増進と体力向上を目指し、明るく豊かな生活を営む態度を養う。

学期	月	時数	単元(題材)	学 習 内 容
一学期	4	7	体づくり運動	・体ほぐし運動、体力を高める運動、新体力テスト、運動会練習
		3	体育理論	・運動やスポーツの意義や効果と学び方や安全な行い方
		5	10	陸上競技
	6		ダンス	・現代的なリズムのダンス(運動会練習含む)
	6	8	陸上競技	・ハードル走
		4	保健分野	・傷害の防止
	7	11	水泳	・クロール、平泳ぎ、背泳ぎ、時間泳
二学期	9	4	保健分野	・傷害の防止
		10	器械運動	・マット運動
	11	6	陸上競技	・長距離走
		4	保健分野	・健康な生活と疾病の予防
	12	8	柔道/ダンス	・男子:柔道 女子:ダンス
三学期	1	6	ダンス/柔道	・男子:ダンス 女子柔道
		8	球技	・バスケットボール
	2	8		・サッカー
	3	4	保健分野	・健康と環境
・傷害の防止				

評価の観点の趣旨【主な学習目標】	主な評価資料
○【知識・技能】 各運動の特性や成り立ち、技の名称や行い方、伝統的な考え方、各領域に関連して高まる体力、健康・安全の留意点についての具体的な方法及び運動やスポーツの多様性、運動やスポーツの意義や効果と学び方や安全な行い方についての考え方を理解するとともに、各領域の運動の特性に応じた基本的な技能を身につける。 ○【思考力・判断力・表現力等】 運動を豊かに実践するための自己の課題を発見し、合理的な解決に向けて、課題に応じた運動の取り組み方や目的に応じた運動の組み合わせを工夫するとともに自己や仲間の考えたことを他者に伝える。 ○【主体的に学習に取り組む態度】 運動の楽しさや喜びを味わうことができるよう、公正、協力、責任、共生などに対する意欲をもち、健康・安全に留意して、学習に積極的に取り組む。	・技能検査、授業観察、補助簿、筆記テスト ・補助簿、提出物、授業観察、筆記テスト ・授業観察、筆記テスト、補助簿、提出物、

目 標	<ul style="list-style-type: none"> ・エネルギー変換に関する知識や技術の習得 ・情報に関する知識や技術の習得 ・生物育成に関する知識や技術の習得
指導の重点	<ul style="list-style-type: none"> ・基礎的、基本的な知識や技能の定着を図る。

学期	月	時数	内容	単 元 (題 材)	学習内容
一学期	4	3	エネルギー変換の技術	生活や社会とエネルギー変換の技術	<ul style="list-style-type: none"> ・生活や社会を支えるエネルギー変換の技術 ・身の回りにおけるエネルギー変換の技術
	5	4		エネルギー資源の利用	<ul style="list-style-type: none"> ・エネルギーの利用 ・燃料を利用した技術 ・発電と送電のしくみ ・エネルギー変換効率と省エネルギー
	6	4		電気の利用 運動の利用	<ul style="list-style-type: none"> ・電気エネルギーの特徴 ・光や熱、動力や音・信号に変換するしくみ ・電気機器と回路図、電気機器の安全な利用 ・電気機器の保守点検、力の伝達、動きの変化、機器の保守点検
	7	3		エネルギー変換の技術による問題解決 これからのエネルギー変換の技術 「エネルギー変換の技術」の学習のまとめ	<ul style="list-style-type: none"> ・問題解決の流れ ・エネルギー変換の技術と私たちの未来 ・学習のまとめ
二学期	9	4	情報の技術	情報とコンピュータ 情報の表現と伝達	<ul style="list-style-type: none"> ・プログラムの構造と表現 ・情報のデジタル化、デジタル情報の特徴 ・使いやすさを工夫した情報の表現 ・メディアを利用した情報の表現 ・情報セキュリティ、情報通信ネットワークのしくみ
	10	3		情報セキュリティと情報モラル 計測・制御による問題解決	<ul style="list-style-type: none"> ・設計・制作・実習
	11	4			
	12	3			<ul style="list-style-type: none"> ・情報モラル ・知的財産の保護と活用
三学期	1	2	生物育成の技術	生活や社会と生物育成の技術	<ul style="list-style-type: none"> ・生活や社会を支える生物育成の技術 ・身の回りにおける生物育成の技術
	2	3		さまざまな生物育成の技術	<ul style="list-style-type: none"> ・作物の栽培技術 ・動物の飼育技術 ・水産生物の栽培
	3	2		生物育成の技術による問題解決	<ul style="list-style-type: none"> ・森林の育成技術 ・問題解決の流れ ・生物育成の計画の立て方

評価の観点の趣旨	【主な学習目標】	主な評価資料
① 知識・技能	【基本的事項を理解できたか】	作品、提出物、定期テスト
② 思考・判断・表現	【作品や作業に工夫があるか】	作品、提出物
③ 主体的に学習に取り組む態度	【課題に意欲的に取り組めるか】	授業への取り組み、作品、提出物

目標		衣食住などに関する実践的・体験的な学習活動を通して、生活の自立に必要な基礎的・基本的な知識及び技術を取得するとともに、家庭の機能について理解を深め、これからの生活を展望して、課題を持って生活をよりよくしようとする態度を育てる。		
指導の重点		<ul style="list-style-type: none"> ○生活に必要な基礎的・基本的な知識や技術を習得させる。 ○学んだことを定着させ、日常生活に生かすことができるようにする。 ○生活と技術とのかかわりについて理解できるようにする。 		
学期	月	時数	単元(題材)	学習内容
一学期	4	3	B 衣食住の生活(衣生活)	<ul style="list-style-type: none"> ○日常着の活用 <ul style="list-style-type: none"> ・自分らしくコーディネート ・衣服のはたらき ・衣服の構成 ・衣服の入手計画と選び方 ○日常着の手入れ <ul style="list-style-type: none"> ・衣服の汚れと手入れ ・衣服の素材と手入れ ・衣服の洗濯 ・衣服の収納・保管 ・衣服の補修 ○布を用いた物の製作 <ul style="list-style-type: none"> ・基本的な裁縫道具の活用 ・ミシンの活用 ・手縫いの手順(ファイルカバーの製作)
	5	4		
	6	3		
	7	3		
二学期	9	4		
		3		
		3		
三学期	1	3		
	2	3		
	3	3		
評価の観点の趣旨【主な学習目標】			主な評価資料	
知識・技能			授業プリント・定期テスト・被服実習	
思考・判断表現			授業プリント・定期テスト	
主体的に学習に取り組む態度			授業プリント・実習振り返り	

月	資料名	内容項目	ねらい
4	1 道徳の授業を始めよう!	A(1)	一年間の道徳の学びの見通しを持たせ、これからの学びを広げたり、深めたりしていこうとする実践意欲と態度を育てる。
	2 テニス部の危機	C(15)	集団の一員として、よりよくするために大切なことを考えさせ、学校生活や集団生活を充実させていこうとする実践意欲と態度を育てる。
	3 カラカラカラ	A(1)	自ら考えて行動するとはどういうことかを考えさせ、物事を自主的に考え、判断し、誠実に実行して、その結果に責任をもとうとする実践意欲と態度を育てる。
5	4 ジコチュウ	B(9)	考えや立場の違いを尊重し合うためにどんなことが大切なのかを考えさせ、相互理解に努め、他者に対して寛容な気持ちで接しようとする実践意欲と態度を育てる。
	5 松葉づえ	B(6)	「思いやり」とはどのようなものかを考えさせ、思いやりの心をもって行動しようとする判断力や心情を育てる。
	6 消防団	C(12)	地域のために活動することについて考えさせ、自分の地域や社会に積極的に関わっていこうとする心情を育てる。
6	7 明日、みんなで着よう	C(11)	いじめが起こったとき、どう行動するかについて考えさせ、正義と公正、公平さを重んじ、いじめや差別、偏見のない社会を実現しようとする実践意欲と態度を育てる。
	8 命が生まれるそのときに	D(19)	命についての詩と、出産を撮影するフォトグラファーの文章や写真を通して、「生きている」ことの尊さについて考えさせ、生命を尊重しようとする心情を育てる。
	9 「許せないよね」	A(1)	自分の行動に責任をもつことの大切さについて考えさせ、物事を自律的に実行して、その結果に責任をもとうとする実践意欲と態度を育てる。
7	10 あと一歩だけ、前に	D(22)	スガシカオさんの曲の歌詞を通して、自分を見つめ、人として生きていくことがどうしたことなのかを考えさせ、弱さや醜さを克服してよりよく生きていこうとする心情を育てる。
	11 異なり記念日	C(14)	温かい信頼関係や愛情のある家族の在り方について考え、家庭の一員としての自覚をもって積極的にに関わり、よりよい家庭関係を築いていこうとする心情を養う。
9	12 夢中になるのは悪いこと?	A(2)	ネットゲームへの依存に関する新聞記事を通して、望ましい生活習慣について考えさせ、節度、節制ある生活を送ろうとする実践意欲と態度を育てる。
	13 秀さんの心	B(7)	礼儀の意味について考えさせ、時と場になつた適切な行動を取ろうとする実践意欲と態度を育てる。
	14 段ボールベッドへの思い	C(13)	人にとって働くことにはどんな意味があるのかを考えさせ、人や社会のために働いていこうとする実践意欲と態度を育てる。
	15 一枚の布から	C(17)	伝統や文化のよさについて考えさせ、それらを継承していこうとする心情を育てる。
10	16 私の町	C(16)	故郷を思う心について考えさせ、郷土の伝統と文化を継承することに努めようとする実践意欲と態度を育てる。
	17 スカイツリーにかけた夢	A(5)	新しいものを生み出していくときに大切なことについて考えさせ、真理を探究して新しいものを創造しようとする実践意欲と態度を育てる。
	18 民主主義と多数決の近くて遠い関係	C(10)	集団や社会の中で合意形成するとき、大切にすべきことについて考えさせ、法を遵守し、公德を重んじようとする判断力や心情を育てる。
	19 「桃太郎」の鬼退治	B(9)	さまざまな考え方や立場の人どうしが理解し合うにはどうしたらよいのかを考えさせ、相互理解に努め、他者に対して寛容な気持ちで接しようとする判断力と心情を育てる。
11	20 むこう岸には	C(18)	「感動する心」について考えさせ、自然や崇高なものに対して感動や畏敬の念を感じ取ろうとする心情を育てる。
	21 僕の仕事場は富士山です	D(20)	自然を守るために大切なことについて考えさせ、自然を愛し守っていこうとする実践意欲と態度を養う。
	22 宇宙の始まりに思いを寄せて	D(21)	「感動する心」について考えさせ、自然や崇高なものに対して感動や畏敬の念を感じ取ろうとする心情を育てる。
	23 つながる命	D(19)	脳死となった女兒の両親が、女兒の臓器提供を決断したことを取り上げた新聞記事を通して、「命」について考えさせ、生命を尊重する心情を育てる。
12	24 優しさの光線	A(3)	将来の夢が見えず、自信を失っている生徒の心を描いた物語を通して、自分の「よさ」について考えさせ、向上心を持ち、個性を伸ばしていこうとする心情を育てる。
	25 入って、本当は?	D(22)	孟子の「性善説」、荀子の「性悪説」を通して、人のもつ強さや弱さ、生き方について考えさせ、よりよく生きていこうとする判断力と心情を育てる。
	26 夢の力	A(4)	今の自分と向き合い、夢や目標の達成に向け、希望と強い意志をもたせて生きていく実践意欲と態度を育てる。
1	27 嫌われるのを恐れる気持ち	A(3)	いろいろなもの見方や考え方を理解しながら、自らを高めていくことの大切さについて考えさせ、向上心を持ち、個性を伸ばしていこうとする実践意欲と態度を育てる。
	28 気づかなかったこと	B(6)	人と接するときに大切なことは何かを考えさせ、他者への思いやりや感謝の気持ちをもって行動していこうとする実践意欲と態度を育てる。
	29 クロスプレー	C(11)	公正な心をもつことの大切さについて考えさせ、正義と公正、公平さを重んじて行動しようとする実践意欲と態度を育てる。
	30 泣きすぎではいけない	D(19)	亡くなった祖父から孫へのメッセージを通して、「生きる」ということについて考えさせ、生命を尊重しようとする心情を育てる。
2	31 道徳の学びを振り返ろう	B(8)	一年間道徳で学んだことを振り返り、これからの自分の生き方について考えを深め、学んだことを生かしていこうとする実践意欲と態度を育てる。
	32 箱根駅伝に挑む	A(2)	将来をより豊かにするための生活習慣について考えさせ、節度ある生活を送ろうとする実践意欲と態度を育てる。
	33 アイヌの歌を歌いたい	A(4)	自分の思いをかなえるために必要な気持ちについて考えさせ、力強く積極的に目標に向かおうとする心情を育てる。
3	34 アンネのバラ	C(18)	平和な世界を実現するために大切なことは何かを考えさせ、国際理解や国際貢献につながる行動をしていこうとする実践意欲と態度を育てる。
	35 泣いた赤おに	B(8)	赤おにと青おにと友情を描いた物語を通して、「本当の友達」とはどのようなものかを考えさせ、他者と友情、信頼を築いていこうとする実践意欲と態度を育てる。